平成２５年度 事務事業評価調書〔ソフト事業〕

事務事業ｺｰﾄﾞ	52212001

平成２５年度作成

平成24年度実施事業

事務事業名	特色ある学校づくり推進経費

区　分	No	名　称					
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち					
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む					
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり					
小分類	1	特色ある教育活動の推進					
主要な施策	2	②総合的な学習の時間の充実					
事務事業番号	001	事業開始年度	平成　15　年度	事業終了年度	平成　－　年度	会計種別	一般会計

部　名	教育部	グループ名	学校教育グループ

事務事業の概要　《Plan・Do》

目　的	（事務事業の実施目的を具体的に記入してください） 総合的な学習の時間や生活科等を通して、各学校の特色ある学校づくりを推進し、地域の特性を活かした特色ある教育を行うことにより、豊かな人間性を育むとともに、地域への愛着を育てることを目的とする。
事業内容及び実績	（事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください） 総合的な学習の時間や生活科等を通して、各学校の特色ある学校づくりを推進した。 【事業内容】 ・登別温泉入浴体験事業（各小学校３年生）　８校　４５５名 登別温泉地区の旅館・ホテルで温泉入浴を体験する。 観光ボランティアガイドの案内で、地獄谷や施設等の見学を行う。 ・総合的な学習活動研究推進事業（各小・中学校） 地域の自然や環境、人材を活用し創意工夫を生かした教育活動を推進する。 講師講演：８件（小学校　８件、中学校　０件） 野外体験学習（小学校）　バス借上げ　１６件 職場体験学習（中学校）　バスチケット交付　２９１枚 ・生活科実施等経費（各小学校１・２年生） 動物の飼育や学校菜園を通し、児童の健やかな成長を育み命の尊さや自然に親しむ心を育てる。 花いっぱい運動一年草購入　８校　４８ケース
今後の方向性	（次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください） 産業や自然など地域の素材を活用した、ものづくりや社会体験・観察を通じて、児童・生徒の、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく課題を解決する資質や能力の育成を図っていく。
根拠法令等	（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください）

事業費（財源内訳）の推移　《Plan・Do》

区　分		単位	H23年度決算	H24年度決算	H25年度当初予算	H26年度見込	H27年度見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	3,427	3,607	4,114	4,114	4,114
事業費 合計			3,427	3,607	4,114	4,114	4,114

指標の推移　《Check》

区　分			単位	区分	23年度実績	24年度実績	25年度目標	26年度目標	27年度目標
成果指標	①	市内小中学校数	校	目標値	13	13	13	13	13
				実績値	13	13			
	②	登別温泉入浴体験	人	目標値	402	463	388	384	384
				実績値	402	455			

比較 《Check》

平成２４年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等
総合的な学習の時間や生活科等を通して、各学校の特色ある学校づくりを推進し、地域の特性を活かした特色ある教育を行うことにより、豊かな人間性を育むとともに、地域への愛着を育てる。	今後も、産業や自然など地域の素材を活用した、ものづくりや社会体験・観察を通じて、児童・生徒の、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく課題を解決する資質や能力の育成を図っていく。

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

１．事務事業の妥当性について

市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？			判断理由及びその他所見
	○	① 市が主体に行うべき事業である	各学校ごとに創意工夫をこらした学習活動を行うことにより、異なる魅力を持った学校づくりを推進することができるため、市が事業を行うことは妥当である。
		② 民間（事業者、市民団体等）でも実施可能である	
		③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
		④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	

２．事務事業の必要性について

市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？			判断理由及びその他所見
		① 市民、団体等から具体的な要望がある	学習を通じ、地域の魅力の再発見など、児童生徒が学ぶことも多いため、必要な事業である。
		② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	○	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
		④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	

３．事務事業の効率性について

事業内容とコスト（事業費）のバランスがよい効率性の高い事業ですか？			判断理由及びその他所見
	○	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	本事業の経費には、施設見学等の経費も見込まれており、必要最低限の予算でより効果的な学習活動を行うよう努めている。
		② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
		③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
		④ 将来的に効率性を向上できる	

４．事務事業の成果について

目的を達成するための成果はあがっていますか？			判断理由及びその他所見
		① 成果指標の向上が見られる	学校の立地条件にあった学習等、独自性が形作られている。
		② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
		③ 目に見える形で成果があがっている	
	○	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

維　持

左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	各学校の創意工夫による学習活動を行うことで、異なる魅力を持った学校づくりを推進することができる。また、学習を通じ、地域の魅力の再発見など児童生徒が学ぶことも多いため、市が事業を行うことは妥当であると考える。

②行政評価会議による評価 《Check》

維　持

備考	